

奥井総建 司企業の竜王倉庫新築

式典開き完成祝う

奥井代表 人との繋がりが大切



奥井総建（奥井敦史代表）
 ・近江八幡市島町1634
 1F）は、竜王町で「司
 14日に同倉庫が完成し、同

日に竣工式を開催。式には多数の関係者が集い、完成を盛大に祝った。

同竜王倉庫は、竜王町山之上5269他の敷地5198・09平方メートル、S造平屋建、延2046・15平方メートル

竣工式にて、記念撮影をする皆さん（前列左端＝奥井代表、代表の隣＝松本所長、所長の右隣＝石井役員）

模で建設。工事費は2億2000万円。同敷地に建てていた「彦兵衛」の解体費（造成費）5000万円を含めると2億7000万円となる。

施主の司企業（庄司只功代表取締役会長・愛知県豊田市本町石根186）は、全国に物流拠点を構える運送会社。倉庫の用途は、同社の一般貨物自動車運送事業における荷扱い所として活用される。

設計を大和設計（湖南市）が担当し、施工は奥井総建、ヤマタケ創建（竹井友明代表取締役社長・竜王町山之上3276）、岡山建設岡山山治彦代表取締役・竜王町山之上5205）の3社によるJV。そして、本工場の仮設事務所・資材置き場



司企業の竜王倉庫

3社の地元企業の心強い協力があってこそ」と述べた。また、将来の建設産業に

し、ブランド力を高められたのも、人との繋がりを大切に育んできた結果だと信じている」と胸の内を明けた。

互職人を10年経験した奥井代表（現34歳）が、現所在地に設立した奥井総建。グループ企業は㈱小坂（奥井美香社長・近江八幡市島町1634-2F）。2010年1月に創業を開始して以来、人との繋がりを大切

に、近江八幡市・野洲市を中心として、総合建設工事全般、土木工事一式のほか、不動産売買、住宅関連工事一式、解体工事全般など幅広い業務を行ってきた。今では、その信頼と親しみやすさから、すっかり業界内でも「奥井に頼めば、なん

として使用された工事当該地の隣接地（1687平方メートル）は、村地総合木材（村地一洋代表取締役社長・竜王町綾戸328-3）が施工業者のために無償で貸与した。

低労働賃金を少しでも多く底上げして行きたい。そのためにも、我々のような元請け業者が、自分達の利益だけを追求するためではなく、回りの協力会社にも利益の循環が生まれるよう工事費を見積もり、少しでもいい値段で仕事を取らなければいけない。自社が成長

とかなる」と評判だ。